

# 2017年度 第3四半期連結決算説明資料

2018年2月7日  
**ブラザー工業株式会社**

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

# 2017年度第3四半期 連結業績概要



単位：億円

	17Q3	16Q3	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率	
売上収益	1,878	1,666	212	12.7% (+6.4%)	・在庫未実現利益の評価基準変更による消去額の影響 +約30億 ・為替影響額（全社：+38億） USD ▲3億 EUR +36億
事業セグメント利益	224	147	77	52.1%	
事業セグメント利益率	11.9%	8.8%			
営業利益	218	112	106	95.1%	・為替予約関連の評価損益 約+31億
営業利益率	11.6%	6.7%			
税引前利益	221	118	103	87.5%	・エクシングの完全子会社化に伴う 連結納税範囲の変更による 税効果影響（16年度） 約▲30億円 ・米国法人減税影響 約▲8億円
四半期利益	162	117	45	38.4%	
換算レート					
USD	112.74	108.72		-	
EUR	133.09	117.70		-	

- ✓ 通信プリンティング機器は、主力のレーザー製品の販売がグローバルで好調持続。インクジェット複合機も、タンクモデルの堅調続く。
- ✓ 産業機器は、IT関連顧客向けの大口受注の効果に加え、自動車関連向けも好調。
- ✓ ドミノ事業は、需要は堅調なもの、製品構成の影響や先行投資増加の影響もあり、減益となる。

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2

第3四半期の売上収益は、1,878億円となり、前年からプラス12.7%、212億円の増収となりました。増収額のうちの約半分、105億円は、円安に伴う為替のプラス影響となりますので、為替を除いた実質ベースでは、約106億円の増収となります。

上期同様、レーザー複合機・プリンターの製品本体の販売が、モノクロ・カラーともグローバルで好調だったことに加え、産業機器もIT関連・自動車/一般機械向けとも好調だったことが、主な要因です。

事業セグメント利益は、224億円となり、前年比 77億円の大幅な増益となりました。

在庫未実現利益の消去に係る為替影響が、この四半期は前年との比較で約30億円の益要因となったことや産業機器が好調だったマシナリー事業の大幅な増益が、業績に大きく貢献しました。

営業利益は、218億円となり、前年から106億円の増益となりました。

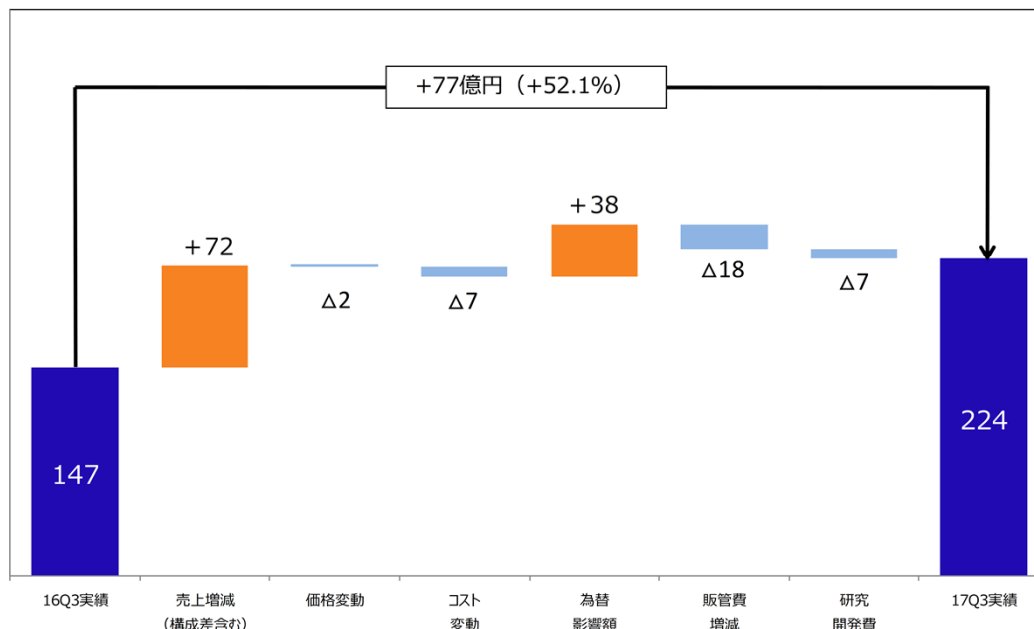
事業セグメント利益以外の要素では、昨年は約37億円あった為替予約にかかる評価損が今回は約7億円となり、ネットで30億円改善したことが主な要因です。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、162億円となり、前年から45億円の増益となりました。

なお、前期の税金費用がほとんどゼロになっているのは、子会社のエクシングを100%子会社化したことで、連結納税範囲が変更となり、繰延税金資産を追加計上できたことが要因です。

これによる効果が約30億円ありました。

また、米国の法人税減税による税効果会計上の一時的な影響として、法人所得税費用が約8億円増加しております。



次に、第3四半期の事業セグメント利益の増減分析です。

売上増減の プラス72億円ですが、主な要因としては、販売が好調だったP&S事業が、在庫未実現利益の消去に係る為替影響の約30億円を含め、約40億円のプラス、産業機器が好調だったマシナリー事業が約30億円のプラスとなります。

次に価格が変動したことによる利益へのマイナス2億円の影響ですが、ほぼP&S事業におけるものです。傾向としては上期と変わらず、SOHO向け中心にプリンティングの事業環境は安定しておりますが、注力分野であるSMB市場向けについては、欧州を中心に大口案件が増えており、その影響が価格変動のマイナスというかたちで出てきております。

次に、コストダウンによる利益へのマイナス7億円の影響ですが、ほぼすべてがP&S事業となります。為替影響のプラス38億円ですが、ほぼすべてがユーロ円が円安となった影響となります。

次に販管費が増加したことによる利益の減少要因18億円は、マシナリー事業が半分弱、残りはN&C事業とP&S事業という構成になります。

研究開発費が増加したことによる利益の減少要因7億円は、ドミノ事業で4億弱、あとはP&SとP&Hというイメージです。

## 2017年度第3四半期 セグメント別概要

brother  
at your side

単位：億円

売上収益	17年度Q3	16年度Q3	増減率	為替影響を除く 増減率
<b>全社</b>	<b>1,878</b>	<b>1,666</b>	<b>12.7%</b>	<b>6.4%</b>
プリンティング & ソリューションズ	1,106	984	12.5%	5.4%
パーソナル & ホーム	136	136	0.4%	-5.9%
マシナリー	306	227	34.7%	30.9%
ネットワーク & コンテンツ	131	130	1.0%	0.9%
ドミノ	170	155	10.0%	-1.8%
その他	27	35	-21.1%	-21.2%

事業セグメント利益	17年度Q3	16年度Q3	増減率
<b>全社</b>	<b>224</b>	<b>147</b>	<b>52.1%</b>
プリンティング & ソリューションズ	156	98	59.4%
パーソナル & ホーム	11	12	-1.4%
マシナリー	38	13	200.2%
ネットワーク & コンテンツ	11	9	19.4%
ドミノ	7	15	-49.4%
その他	1	2	-57.9%
調整額	-0	-0	-

営業利益	17年度Q3	16年度Q3	増減率
<b>全社</b>	<b>218</b>	<b>112</b>	<b>95.1%</b>
プリンティング & ソリューションズ	150	58	160.7%
パーソナル & ホーム	10	10	-5.2%
マシナリー	38	14	171.3%
ネットワーク & コンテンツ	10	8	28.7%
ドミノ	9	20	-55.1%
その他	1	2	-43.1%
調整額	-0	-0	-

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4

次に、第3四半期業績のセグメントごとのまとめです。

説明は省略します。

# 2017年度第3四半期（累計） 連結業績概要



単位：億円

	17Q3 累計	16Q3 累計	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率	
売上収益	5,342	4,769	573	12.0% (+7.6%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在庫未実現利益の評価基準変更による消去額の影響はほぼ無し</li> <li>為替影響額（全社：+64億） USD ▲3億 EUR +60億</li> </ul>
事業セグメント利益	615	494	121	24.5%	
事業セグメント利益率	11.5%	10.4%			
営業利益	531	473	58	12.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>為替予約関連の評価損益 約▲87億</li> </ul>
営業利益率	9.9%	9.9%			
税引前利益	537	489	49	9.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>エクシングの完全子会社化に伴う連結納税範囲の変更による税効果影響（16年度） 約▲30億円</li> <li>米国法人減税影響 約▲8億円</li> </ul>
四半期利益	388	387	2	0.4%	
換算レート					
USD	111.82	107.88		-	
EUR	128.59	119.13		-	

- ✓ 通信プリンティング機器は、主力のレーザー製品の販売がグローバルで好調持続。インクジェット複合機も、タンクモデルの堅調続く。
- ✓ 産業機器は、IT関連顧客向けの大口受注の効果に加え、自動車関連向けも好調。
- ✓ 事業セグメント利益は、為替のプラス影響に加え、マシナリー事業が好調だったことにより、大幅な増益となる
- ✓ 営業利益は、為替予約にかかる評価損の影響を吸収し、約+12%の増益となる
- ✓ 四半期利益は、昨年計上した税効果のプラス影響（約30億円）がなくなったことにより、ほぼ前年並みの水準となる

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

5

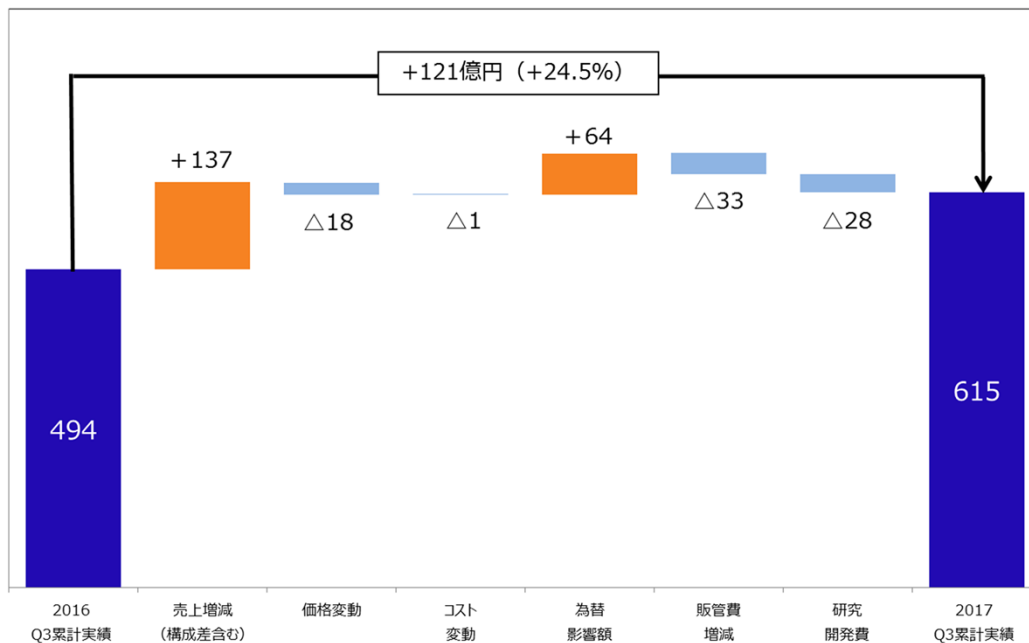
次に、第3四半期累計業績の説明です。

説明は省略します。

# 事業セグメント利益増減要因 <17Q3累計実績>



単位：億円



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

次に、第3四半期累計の事業セグメント利益の増減分析です。

説明は省略します。

# 2017年度第3四半期（累計）セグメント別概要



単位：億円

売上収益	17年度Q3累計	16年度Q3累計	増減率	為替影響を除く 増減率
<b>全社</b>	<b>5,342</b>	<b>4,769</b>	<b>12.0%</b>	<b>7.6%</b>
プリンティング & ソリューションズ	3,099	2,851	8.7%	3.1%
パーソナル & ホーム	344	342	0.5%	-4.9%
マシナリー	941	664	41.8%	39.0%
ネットワーク & コンテンツ	371	375	-1.2%	-1.2%
ドミノ	501	436	14.7%	11.5%
その他	87	100	-12.9%	-12.9%

事業セグメント利益	17年度Q3累計	16年度Q3累計	増減率
<b>全社</b>	<b>615</b>	<b>494</b>	<b>24.5%</b>
プリンティング & ソリューションズ	425	379	12.0%
パーソナル & ホーム	16	16	-2.7%
マシナリー	114	42	173.8%
ネットワーク & コンテンツ	21	19	13.7%
ドミノ	33	34	-3.7%
その他	7	6	17.9%
調整額	-1	-2	-

営業利益	17年度Q3累計	16年度Q3累計	増減率
<b>全社</b>	<b>531</b>	<b>473</b>	<b>12.2%</b>
プリンティング & ソリューションズ	353	360	-2.0%
パーソナル & ホーム	10	15	-37.1%
マシナリー	112	45	148.5%
ネットワーク & コンテンツ	20	8	140.5%
ドミノ	28	39	-27.6%
その他	8	7	24.6%
調整額	-1	-2	-

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

次に、第3四半期累計業績のセグメントごとのまとめです。

説明は省略します。

## 2017年度 連結業績予想概要

単位：億円

	FY17 予想	前回予想	増減率	FY16	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	7,000	7,000	0.0%	6,412	9.2% (+6.3%)
事業セグメント利益	725	725	0.0%	608	19.3%
事業セグメント利益率	10.4%	10.4%		9.5%	
営業利益	660	660	0.0%	592	11.6%
営業利益率	9.4%	9.4%		9.2%	
税引前利益	655	655	0.0%	613	6.9%
当期利益	485	485	0.0%	472	2.7%
特殊要因調整後の当期利益	485	485	0.0%	430	12.8%
換算レート					
USD	110.97	110.97		109.03	
EUR	127.63	127.63		119.37	

- ・Q3までの進捗を踏まえ、通期業績予想は前回予想から変更無し
- ・予想期間の為替前提も、1 USドル= 110円、1 ユーロ= 128円で前回から変更無し
- ・事業別・地域別の見通しも前回予想から変更無し

次に業績予想についてです。

Q3まで、各事業の進捗状況は概ね計画線で推移してきておりますので、今回は予想を据え置きいたしました。為替の前提レート、事業別・地域別の内訳を含め、すべて前回予想のままです。



# 2017年度 連結業績予想 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	17年度予想	前回予想	増減率	16年度実績	対前年増減率	為替影響を除く増減率
<b>全社</b>	<b>7,000</b>	<b>7,000</b>	<b>0.0%</b>	<b>6,412</b>	<b>9.2%</b>	<b>6.3%</b>
プリンティング & ソリューションズ	4,059	4,059	0.0%	3,836	5.8%	2.2%
パーソナル & ホーム	454	454	0.0%	444	2.2%	-1.2%
マシナリー	1,227	1,227	0.0%	909	34.9%	33.4%
ネットワーク & コンテンツ	494	494	0.0%	497	-0.7%	-0.7%
ドミノ	670	670	0.0%	594	12.9%	10.6%
その他	96	96	0.0%	131	-26.8%	-26.8%

事業セグメント利益	17年度予想	前回予想	増減率	16年度実績	対前年増減率
<b>全社</b>	<b>725</b>	<b>725</b>	<b>0.0%</b>	<b>608</b>	<b>19.3%</b>
プリンティング & ソリューションズ	497	497	0.0%	457	8.9%
パーソナル & ホーム	22	22	0.0%	20	7.9%
マシナリー	127	127	0.0%	62	105.6%
ネットワーク & コンテンツ	25	25	0.0%	22	12.9%
ドミノ	48	48	0.0%	42	14.9%
その他	6	6	0.0%	7	-14.0%
調整額	-	-	-	-2	-

営業利益	17年度予想	前回予想	増減率	16年度実績	対前年増減率
<b>全社</b>	<b>660</b>	<b>660</b>	<b>0.0%</b>	<b>592</b>	<b>11.6%</b>
プリンティング & ソリューションズ	455	455	0.0%	455	-0.0%
パーソナル & ホーム	13	13	0.0%	19	-30.9%
マシナリー	128	128	0.0%	60	114.0%
ネットワーク & コンテンツ	20	20	0.0%	9	133.9%
ドミノ	42	42	0.0%	44	-3.8%
その他	2	2	0.0%	7	-73.3%
調整額	-	-	-	-2	-

## 参考データ：

事業セグメント情報  
研究開発費  
設備投資・減価償却費  
棚卸資産

© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

<通信・プリンティング機器の**本体・消耗品別**の対前年売上伸び率（為替を除く）の内訳>

	Q3	Q3累計	通期
本体	+10%	+10%	+6%
消耗品	+3%	▲2%	▲1%

<通信・プリンティング機器の**印字カテゴリー別**の対前年売上伸び率（為替を除く）の内訳>

	Q3	Q3累計	通期
インクジェット	約+2%	約+2%	約▲1%
レーザー	約+7%	約+4%	約+3%

<通信・プリンティング機器の売上収益に占める**消耗品比率**>

	Q3	Q3累計	通期
消耗品比率	56%	57%	58%

# プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・事業セグメント利益



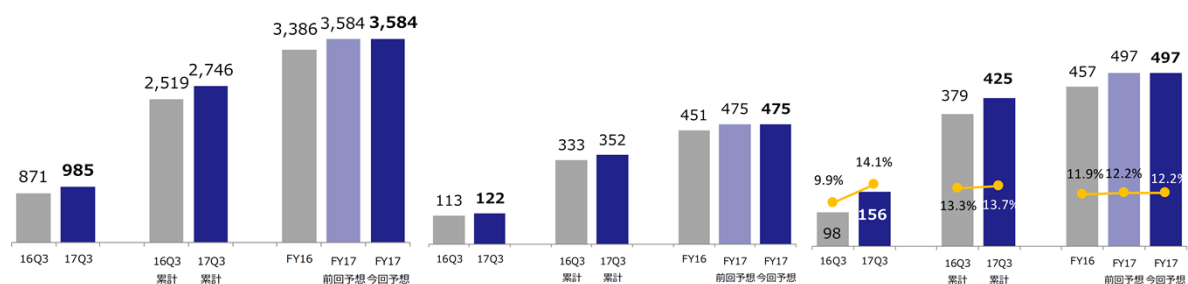
単位：億円

	16Q3	17Q3	増減率	為替影響 除く増減率	16Q3 累計	17Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY16	FY17 前回予想	FY17 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	984	1,106	12.5%	5.4%	2,851	3,099	8.7%	3.1%	3,836	4,059	4,059	5.8%	2.2%
通信・プリンティング機器	871	985	13.1%	5.9%	2,519	2,746	9.0%	3.5%	3,386	3,584	3,584	5.9%	2.2%
米州	323	342	5.7%	1.2%	953	1,007	5.6%	0.7%	1,283	1,339	1,339	4.4%	2.0%
欧州	278	334	20.1%	6.4%	791	873	10.4%	1.8%	1,076	1,169	1,169	8.6%	1.7%
アジア他	138	161	17.1%	10.2%	413	476	15.4%	9.4%	546	606	606	10.9%	7.2%
日本	132	148	12.0%	12.0%	362	390	7.8%	7.8%	480	470	470	-2.1%	-2.1%
電子文具	113	122	8.0%	1.2%	333	352	5.8%	0.3%	451	475	475	5.4%	1.9%
米州	51	53	3.9%	-0.3%	158	160	1.8%	-2.9%	214	218	218	1.6%	-0.6%
欧州	35	39	11.9%	-0.6%	97	106	8.7%	0.5%	132	146	146	10.5%	3.5%
アジア他	18	21	17.1%	10.0%	50	59	16.7%	10.8%	66	75	75	13.7%	10.1%
日本	10	9	-1.1%	-1.1%	28	27	-1.1%	-1.1%	39	37	37	-5.1%	-4.5%
事業セグメント利益	98	156	59.4%	-	379	425	12.0%	-	457	497	497	8.9%	-
営業利益	58	150	160.7%	-	360	353	-2.0%	-	455	455	455	0.0%	-

<売上収益> 通信・プリンティング機器

<売上収益> 電子文具

<事業セグメント利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

11

通信・プリンティング機器の第3四半期の売上収益は985億円で、現地通貨ベースでは対前年で5.9%の増収となりました。

伸び率の内訳は、ハードがプラス10%、消耗品がプラス3%となりました。

ハードについては、SOHOユーザーをターゲットとしたモノクロレーザーのコンパクトモデルの需要が高く、グローバルで販売が好調となっていることに加え、カラーレーザーも欧米で高い成長が続いております。

インクジェット複合機は、新興国ではインクタンクモデルへのシフトが続いているものの、欧米では市場縮小の影響により、マイナスとなっております。日本も市場は弱いものの、第3四半期は前年を上回りました。

消耗品については、米州での需要が弱かったものの、他の地域は概ね堅調に推移しました。

電子文具は、ほぼ前年並みで推移しました。ピータッチブランドで展開しているラベルライターは総じて堅調だったものの、昨年に比べると、モバイルプリンターなどのソリューション案件が少なかったことが、前年並みとなった要因と考えております。

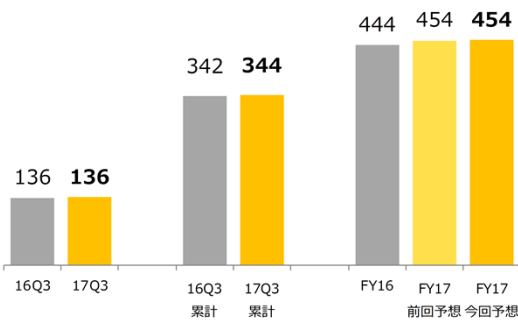
# パーソナル&ホーム事業 売上収益・事業セグメント利益



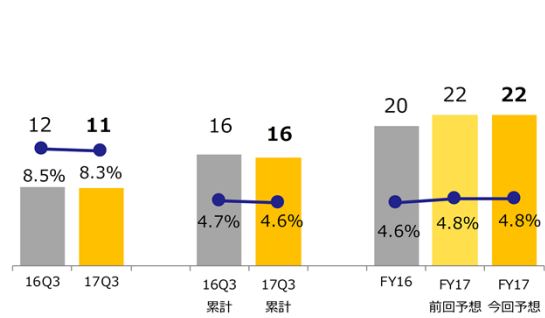
単位：億円

	16Q3	17Q3	増減率	為替影響 除く増減率	16Q3 累計	17Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY16	FY17 前回予想	FY17 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	136	136	0.4%	-5.9%	342	344	0.5%	-4.9%	444	454	454	2.2%	-1.2%
米州	80	74	-7.7%	-11.8%	199	190	-4.4%	-9.0%	253	248	248	-1.8%	-4.0%
欧州	31	37	20.4%	6.2%	72	87	20.0%	9.7%	96	108	108	12.5%	4.5%
アジア他	15	17	9.2%	3.5%	42	42	-0.6%	-5.4%	55	58	58	5.3%	2.0%
日本	10	9	-9.6%	-9.6%	28	24	-12.8%	-12.8%	41	40	40	-0.8%	-1.8%
事業セグメント利益	12	11	-1.4%	-	16	16	-2.7%	-	20	22	22	7.9%	-
営業利益	10	10	-5.2%	-	15	10	-37.1%	-	19	13	13	-30.9%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

12

第3四半期の売上収益は136億円、現地通貨ベースの伸び率では、5.9%の減収となりました。地域別では、米州がマイナス11.8%となり、全体を押し下げる要因となっています。米州は中高級機を中心に、需要が弱かったことが要因と考えております。

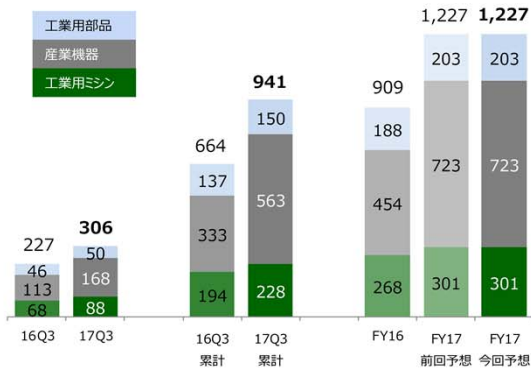
# マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益



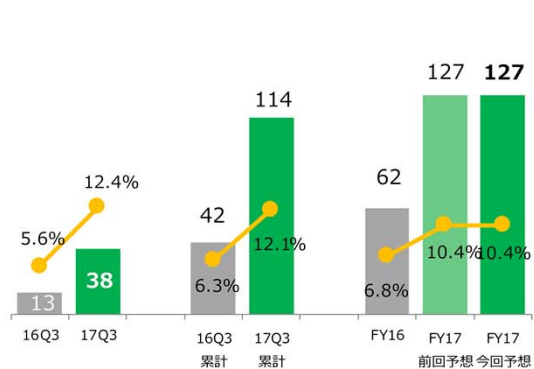
単位：億円

	16Q3	17Q3	増減率	為替影響 除く増減率	16Q3 累計	17Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY16	FY17 前回予想	FY17 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	227	306	34.7%	30.9%	664	941	41.8%	39.0%	909	1,227	1,227	34.9%	33.4%
工業用マシン	68	88	30.3%	23.4%	194	228	17.6%	12.2%	268	301	301	12.3%	9.4%
産業機器	113	168	47.8%	44.8%	333	563	69.1%	67.2%	454	723	723	59.4%	58.4%
工業用部品	46	50	9.2%	7.9%	137	150	9.5%	8.3%	188	203	203	8.0%	7.3%
事業セグメント利益	13	38	200.2%	-	42	114	173.8%	-	62	127	127	105.6%	-
営業利益	14	38	171.3%	-	45	112	148.5%	-	60	128	128	114.0%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

第3四半期の売上収益は、工業用マシンが88億円、産業機器が168億円、工業用部品が50億円となりました。

工業用マシンは、中国での堅調が続いていることに加え、需要が低迷していたインド・ベトナムなどが下期に入り回復してきております。

欧米についても、自動車関連の需要が堅調なことに加え、「ガーメントプリンター」の新モデルが好調に推移しており、業績に大きく貢献しております。

産業機器は、上期同様、IT関連の大口受注の影響だけでなく、自動車関連の売上が順調に拡大しており、大幅な増収となりました。

工業用部品は、小型減速機、歯車とも、機械需要の拡大や、工場の自動化ニーズの拡大に伴い、堅調に推移しております。

# マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益（地域別）

brother  
at your side

単位：億円

	16Q3	17Q3	増減率	為替影響 除く増減率	16Q3 累計	17Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY16	FY17 前回予想	FY17 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>227</b>	<b>306</b>	<b>34.7%</b>	<b>30.9%</b>	<b>664</b>	<b>941</b>	<b>41.8%</b>	<b>39.0%</b>	<b>909</b>	<b>1,227</b>	<b>1,227</b>	<b>34.9%</b>	<b>33.4%</b>
<b>工業用マシン</b>	<b>68</b>	<b>88</b>	<b>30.3%</b>	<b>23.4%</b>	<b>194</b>	<b>228</b>	<b>17.6%</b>	<b>12.2%</b>	<b>268</b>	<b>301</b>	<b>301</b>	<b>12.3%</b>	<b>9.4%</b>
米州	14	20	39.4%	34.4%	41	48	18.2%	13.1%	54	62	62	14.3%	12.0%
欧州	10	17	71.3%	51.6%	32	45	42.2%	30.7%	41	54	54	31.2%	22.4%
アジア他	42	49	17.1%	12.4%	117	130	11.1%	7.1%	167	178	178	6.7%	5.3%
日本	1	2	37.2%	37.2%	4	5	8.8%	8.8%	6	7	7	18.2%	11.0%
<b>産業機器</b>	<b>113</b>	<b>168</b>	<b>47.8%</b>	<b>44.8%</b>	<b>333</b>	<b>563</b>	<b>69.1%</b>	<b>67.3%</b>	<b>454</b>	<b>723</b>	<b>723</b>	<b>59.4%</b>	<b>58.4%</b>
米州	7	9	27.6%	-	21	23	8.6%	-	27	31	31	15.3%	-
欧州	4	6	33.7%	-	15	20	36.4%	-	21	26	26	23.3%	-
アジア他	83	126	50.4%	-	244	456	87.1%	-	334	589	589	76.4%	-
日本	19	28	46.5%	-	54	64	19.7%	-	72	77	77	7.3%	-
<b>工業用部品</b>	<b>46</b>	<b>50</b>	<b>9.2%</b>	<b>7.9%</b>	<b>137</b>	<b>150</b>	<b>9.5%</b>	<b>8.3%</b>	<b>188</b>	<b>203</b>	<b>203</b>	<b>8.0%</b>	<b>7.3%</b>
米州	6	6	-1.4%	-5.1%	19	19	-0.7%	-5.0%	26	27	27	2.6%	0.7%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	4	5	21.9%	12.8%	12	15	24.5%	17.8%	17	20	20	17.0%	13.9%
日本	36	40	9.5%	9.5%	106	116	9.6%	9.6%	145	156	156	8.0%	7.7%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>13</b>	<b>38</b>	<b>200.2%</b>	<b>-</b>	<b>42</b>	<b>114</b>	<b>173.8%</b>	<b>-</b>	<b>62</b>	<b>127</b>	<b>127</b>	<b>105.6%</b>	<b>-</b>
<b>営業利益</b>	<b>14</b>	<b>38</b>	<b>171.3%</b>	<b>-</b>	<b>45</b>	<b>112</b>	<b>148.5%</b>	<b>-</b>	<b>60</b>	<b>128</b>	<b>128</b>	<b>114.0%</b>	<b>-</b>

# ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益

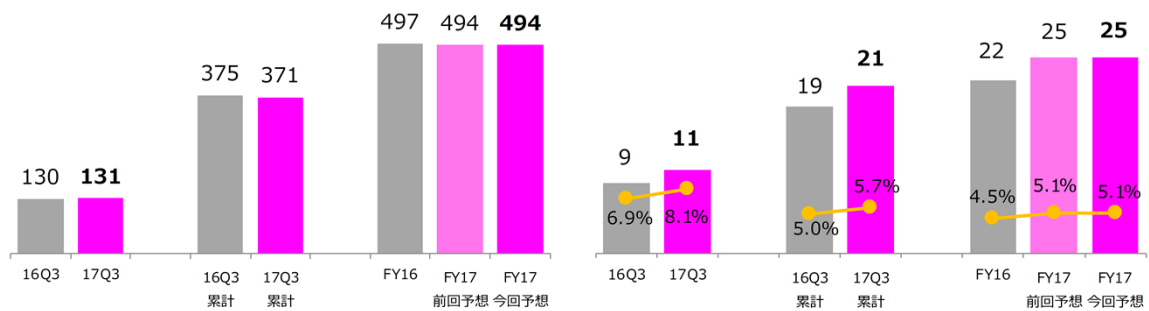


単位：億円

	16Q3	17Q3	増減率	16Q3 累計	17Q3 累計	増減率	FY16	FY17 前回予想	FY17 今回予想	対前年 増減率
売上収益	130	131	1.0%	375	371	-1.2%	497	494	494	-0.7%
事業セグメント利益	9	11	19.4%	19	21	13.7%	22	25	25	12.9%
営業利益	8	10	28.7%	8	20	140.5%	9	20	20	133.9%

<売上収益>

<事業セグメント利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

第3四半期の売上収益は、131億円、ほぼ前年並みの水準となりました。  
カラオケ事業、直営店舗事業とも総じて堅調が続いております。

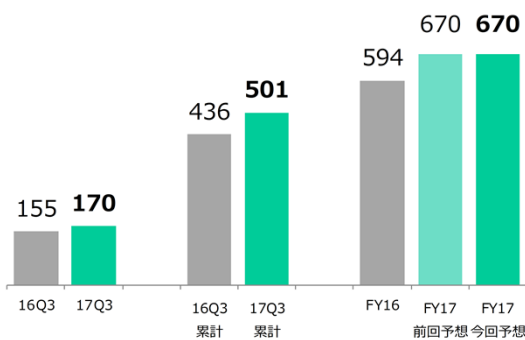
# ドミノ事業 売上収益・事業セグメント利益

brother  
at your side

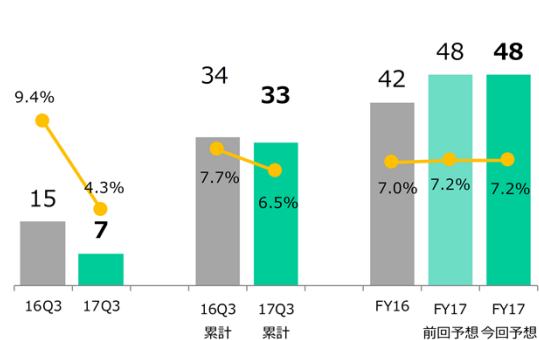
単位：億円

	16Q3	17Q3	増減率	為替影響 除く増減率	16Q3 累計	17Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY16	FY17 前回予想	FY17 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	155	170	10.0%	-1.8%	436	501	14.7%	11.5%	594	670	670	12.9%	10.6%
米州	42	39	-8.0%	-17.3%	110	121	10.4%	6.4%	150	164	164	9.1%	6.0%
欧州	75	85	13.9%	2.4%	208	240	15.1%	11.2%	283	319	319	12.8%	10.0%
アジア他	38	47	22.1%	9.8%	119	140	17.8%	13.8%	161	187	187	16.7%	13.7%
事業セグメント利益	15	7	-49.4%	-	34	33	-3.7%	-	42	48	48	14.9%	-
営業利益	20	9	-55.1%	-	39	28	-27.6%	-	44	42	42	-3.8%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2018 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

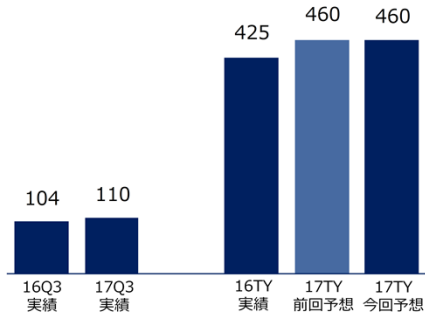
16

売上収益は170億円となり、ポンドベースの伸び率では、1.8%の微減収となりました。地域別でみていただくと、米州での落ち込みが大きく、マイナス17.3%となっております。これは主にコーディング & マーキング事業において、案件の期ずれの影響や、製品ミックスの影響が大きいためとなります。16年度の下期に発売したインクジェットタイプの製品の販売が伸びていることが、ミックス低下の要因となっております。受注状況に関しては、おおむね安定しており、大きな変化はありません。

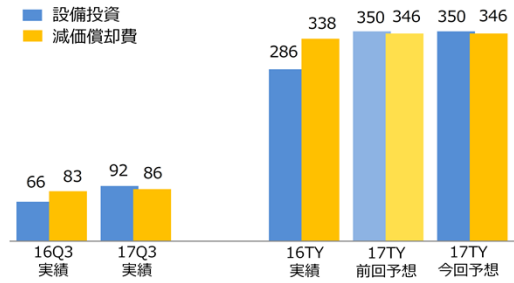
第3四半期の事業セグメント利益が7億円で、前期に比べて8億円の減益となっている要因ですが、要因としては、減収やミックスの変化などの売上に起因する部分が半分、開発費などの先行投資の増加の影響で半分というイメージです。



研究開発費  
(億円)



設備投資・減価償却費  
(億円)



棚卸資産  
(億円)



**brother**  
at your side